

修士論文(要旨)
2022年7月

韓国のソーシャル・ネットワーキング・サービス上のエイジズムに関する研究

指導 杉澤 秀博 教授

老年学研究科
老年学専攻
220J6901
金 在原

Master's Thesis (Abstract)
July 2022

A Study on the Ageism for Older Adults in Korean Social Service
Network

Jae Won Kim
220J6901
Master's Program in Gerontology
Graduate School of Gerontology
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Hidehiro Sugisawa

目次

第1章 先行研究と目的.....	1
1.1 問題関心.....	1
1.2 先行研究の到達点と課題.....	1
1.3 研究目的.....	4
第2章 研究方法.....	4
2.1 分析データ.....	4
2.2 分析方法.....	4
第3章 分析結果	5
第4章 考察	8
引用文献	
資料	
表 1	12
表 2	13
表 3	14
図 1	15

第1章 先行研究と目的

1.1. 問題関心

近年、世界の国々では COVID-19 感染症が高齢者の間では死亡リスクが高いことから、その感染対策として多額な税金が使われるようになった。それに対して若い人たちは自分たちが働いて払っている税金が弱者とはいえ高齢者に使われていることに対する反発が少なくなき、これらの反発が SNS(ソーシャル・ネットワークング・サービス)というツールを通じて発信されているのではないかという指摘が行われるようになった。

1.3. 研究目的

本研究では、先行研究で多く利用されており、なおかつ有名人から一般人まで使う SNS の一つである韓国語のツイッターを対象に、エイジズムの現状について分析することを目的とする。

第2章 研究方法

2.1. 分析データ

ツイッターについては 2014 年から入手可能で、1 年単位で分析データを得ることができるため、2014 年から直近の 2021 年までのデータを分析対象とした。

2.2 分析方法

次のようなステップで分析を行う。第 1 ステップでは、ソーシャルネットワーク分析のためにサムトレンド(Sometrend)のテキストマイニング(text mining)機能を用いて、高齢者に言及したメッセージを年ごとに取り出す。

第 2 ステップでは、サムトレンド(Sometrend)が提供する感情分析(Sentimental Analysis)を利用して、肯定的、中立的、肯定的言語に分類する。

3 ステップでは、第 2 ステップで明らかにされた否定的な単語の中に「年齢差別」に言及したものがどれだけあるのかを明らかにするため、韓国語で「年齢差別」をハッシュタグ検索した。

第 4 ステップでは、第 2 ステップで明らかにされた否定的言語について、年齢差別を構成する 3 つの概念である偏見(嫌悪など)、ステレオタイプ(誹謗など)、差別・回避に分類し、それぞれの出現割合を分析した。

第3章 分析結果

2014年から2021年までを合計し、それらを肯定的・中立的・否定的な言語に区分してみると、それぞれ45.2%、5.3%、49.5%の割合であった。この傾向は年によって大きな変化はみられなかった。「年齢差別」の言及数とその否定的な言語に占める割合については、全体では9,706件、否定的な言語に占める割合は0.081%であった。年別にみると「年齢差別」の言及数は2017年のみ絶対数(7,528件)とともに否定的言語の中に占める割合(0.341%)においても格段に多かった。否定的な言語の中で「ステレオタイプ」「偏見」「差別・回避」それぞれの出現割合については、全体をみると「ステレオタイプ」は12.0%、「偏見」は4.0%、「差別・回避」は6.1%であった。この傾向は年による差は大きくなかったが、「差別・回避」のみ、2020年と2021年ではそれぞれ7.5%と9.8%であり、2019年の3.2%の2倍以上であった。

第4章 考察

第1に、高齢者に言及したツイッターを対象に、肯定的、中立的、否定的な言語の使用割合を分析した結果、否定的言語の割合が肯定的言語の割合をわずかな差ではあったが上回っていた。欧米においては、高齢者に対する否定的な態度が肯定的な態度よりも優勢であるという知見が明らかにされているが、韓国においてもツイッターという限定的な言論空間ではあるものの、欧米と同じように否定的な態度がより広範にみられることが示唆された。加えて、この傾向は8年の間大きな変化が見られていないことから、韓国においては安定的に継続している可能性も示唆された。

第2に「年齢差別」に言及したツイートが2017年のみ絶対数でも否定的発言の中に占める割合においても極めて多かった。この結果は次のようなことを示唆している。この年は、韓国が高齢社会に突入した年であり、さらにこの年に行われた大統領選では高齢者福祉が論点の一つに位置付けられ、ツイッター上では高齢者に対する差別解消のための政策提言が行われた。そのことに対して、韓国国民、中でもツイッターを多く利用する若者の間では、高齢者優遇政策に対する反発が多かったことが示唆されている。

第3に、高齢者の否定的反応のうち、エイジズムを構成する概念である「ステレオタイプ」が最も多くを占めていた。このような認知が「差別・回避」につながることを示されていることから、「ステレオタイプ」の解消が重要であると考えられる。加えて、「差別・回避」の割合が、2019年の3.2%から2020年と2021年ではこの割合が倍増していた。このような増加の背景には、欧米と同じように2020年に始まったCOVID-19の蔓延があると考えられる。

最後に、本研究の限界及び今後の課題に触れておきたい。第1に、第3ステップで利用した検索語「年齢差別」に伴う問題である。否定的な言語の中で、本研究では高齢者を揶揄する欧米の言語

(boomer remover) に代替する言語として、ダイレクトに「年齢差別」という検索語を設定し、その使用数と割合を分析した。しかし、これ以外に高齢者を揶揄する韓国語が存在している可能性が否定できないことから、これを探し出し、再分析する必要がある。第2に、分析したデータをツイッターに制限したという限界がある。第3に、本研究と同じ方法論を用いて、日本人のツイート进行分析することで、儒教思想の影響が強い他の国でも共通する結果が得られるか、本研究の妥当性を検証する必要がある。

引用文献

- Afolabi, Oyeronke, and Raymond Holder: "Social Media and Racism in 21 st Century America: A Case Study of Twitter." Merriam-Webster. (nd). Xenophobia vs. racism: Explaining the difference. Merriam-Webster(2021)
- Barrett AE, Michael C, Padavic I: Calculated Ageism: Generational Sacrifice as a Response to the COVID-19 Pandemic. J Gerontol B Psychol Sci Soc Sci: 76(4): e201-e205(2021)
- Cornelia Brantner, Katharina Lobinger, Miriam Stehling: "Memes against sexism? A multi-method analysis of the feminist protest hashtag# distractinglysexy and its resonance in the mainstream news media." Convergence 26. 3: 674-696(2020)
- Doug Woong Hahn: A Critical Review of Psychological Studies on Confucian Culture in Korea the Korean Journal of Psychology: General, 20(2), 449-479(2001)
- Gendron T, Welleford E, Inker J, et al.: The Language of Ageism: Why We Need to Use Words Carefully, 56(6):997-1006(2016)
- Hearst, Marti: "What is text mining." SIMS, UC Berkeley 5(2003)
- Iversen, Thomas Nicolaj, Lars Larsen, Per Erik Solem: "A conceptual analysis of ageism." Nordic Psychology 61. 3. 4-22(2009)
- Juanita-Dawne Bacsu, Sarah Fraser, Alison L Chasteen et al: "Using Twitter to examine stigma against people with dementia during COVID-19: Infodemiology study.": JMIR aging 5.1: e35677(2022)
- Kim Ju-Hyun: Ageism Survey.: A Report on Instrument Development. Korea Journal of Population Studies: 35(1), 53-75(2012)
- Lichtenstein, Bronwen: "Coffin Dodger" to "Boomer Remover" : Outbreaks of ageism in three Countries with Divergent Approaches to Coronavirus Control. The Journal of Gerontology Series B, 76(4):206-212(2021)
- Meisner, Brad A: "Are you OK, Boomer? Intensification of ageism and intergenerational tensions on social media amid COVID-19." Leisure Sciences 43.1-2: 56-61(2021)11)
- Shin J, Jung S, Park H, et al.: Perceptions Related to Nursing and Nursing Staff in Long-Term Care Settings during the COVID-19 Pandemic Era: Using Social Networking Service. International J of Environmental Research and Public Health 18(14): 7398(2021)

Sotomayor J, Renee M, Gomez - Moreno C, et al: "Coronavirus, ageism, and Twitter: An evaluation of tweets about older adults and COVID - 19." Journal of the American Geriatrics Society 68(8):1661-1665(2020)

原田謙・杉澤秀博・柴田博: 都市部の若年男性におけるエイジズムに関連する要因. 老年社会科学, 29(4):485-492(2008)